



笑う門には福来る

学校の教育目標
 ○よく考える子
 ○心豊かな子
 ○たくましい子

1, はじめに

2学期前半も今日で終了となりました。2学期は荒天で延期になりましたが運動会も無事終了しました。5年生の自然教室も先週終わりました。寒い中でしたが充実した2日間を過ごせたようです。1月より年度末にかけて子ども達が登校するのも50日あまりとなります。今学校では新年度に向けて、子ども達の実態や保護者の皆様や教職員の意見などを勘案して教育計画を策定中です。マスコミでは教員の働き方改革で春休みの延長が話題になっております。教育委員会からも正式に通知がきましたが、夏休みの終わりを調整することで子ども達の授業時数には変動はありませんでした。さて2学期後半開始は1月5日(金)となります。給食有りの4校時です。各ご家庭におきましてはよいお年を迎えられますことを祈念いたします。

2, 12/25(月) 校長講話

毎月の私の話は2度の警察官の方の講話(10月は自転車盗難・12月は万引き)で延期になりまして、ちょっと時期外れですが「読書」について話しました。

問題①
 昔話の「ももたろう」はどんなメッセージでしょうか



【あらすじ】桃から生まれた桃太郎が「さる」「きじ」「犬」とともに、「おにがしま」のおにをたいじをして、幸せに帰った話。

さて、どんなメッセージ

- ① もものパワーはすごい
- ② つよいものはいつかはほろびる
- ③ きびだんごは人をひきつけるほどおいしい
- ④ ありがたい人がかつ

問題②
 昔話の「うらしまたろう」はどんなメッセージでしょうか



【あらすじ】かめを助けた「うらしまたろう」が「りゅうくうじょう」にあんないされて、たのしくすごしたあと、おみやげに「ぜったいにあけてはいけません」という「たまてばこ」をもらいましたが、はこをあけてしまい、おじいさんになった話。

さて、どんなメッセージ

- ① やわいものを助けるといいことがある
- ② やくそくをやぶってはいけない
- ③ あそびすぎはよくない
- ④ 世の中はしかたがないこともある(不条理)

「ありとぎりぎりす」(イソップ童話)を読みます



【あらすじ】ありたちは夏の間、冬のために食べ物を集めていました。きりぎりすは「冬がきてからかんがえればいいさ」と楽しくたっていました。冬がきて、食べ物がなくなり、きりぎりすはありに食べ物をもらいにいきましたが、ことわられてしまいました。きりぎりすはしょぼりしてしまいました。

メッセージはおそらく
 あそんでばかりいると、あとでこまることになる

あなたならどの生き方をえらびますか?
 「あり派」それとも「きりぎりす派」ですか

冬休みには前には図書館での読書の貸し出し冊数も増えます。子ども達には特に物語などでは作品にどんなメッセージが隠れているかなど考えながら読んでもらうのも、読書の魅力の一つであると思ってもらえたらと思います。

3, 12/25(月) 冬休みの過ごし方

校長講話に続いて生活指導担当の島尻先生より冬休みの過ごし方についての話しがありました。

①冬休みは、計画を立てて過ごしましょう。
 1日ごとに計画

 息抜き時間も

 ◎朝のうちで、宿題や自主学習をすすめましょう。
 ☆計画的にすすめると、自分の時間を作ることができます。
 ☆がんばったら、休むことも大切です。

②生活のリズムを、くずさないようにしましょう。
 (早起・早起き・朝ごはん)



③お金の使い方に、気をつけましょう。



④出かける時は、家族に時間、場所、誰と遊ぶかを伝えましょう。



⑤交通事故に注意しましょう。



スライドのことに気をつけて充実した冬休みを過ごしてほしいと思います。